

「宮崎市地震津波対策インフラ構想」

～安全・安心を未来につなぐ、緑と大地のスクラム構想～

(第1版)



(大淀川河口から市街地を望む)

平成25年10月
宮崎市

《目次》

はじめに

災害に強い安全・安心なまちを目指して	1
--------------------	---

第1章 「宮崎市地震津波対策インフラ構想」策定の背景と目的等

1-1 構想策定の背景	3
1-2 構想の目的・役割	3
1-3 「宮崎市地震津波対策インフラ構想検討会」	4
1-4 構想を取りまとめる上での基本的な条件等	5

第2章 現状分析と問題・課題の整理

2-1 宮崎市の現状	7
(1) 人口	7
(2) 土地利用	9
(3) 建物分布	10
(4) 標高	11
(5) 過去の地震津波記録	12
(6) 現在の宮崎市の地震・津波対策	14
2-2 分析・検討地区の類型化と地区区分	15
2-3 宮崎市における津波想定（L2津波）	18
(1) 津波の想定	18
(2) 津波の拳動	22
(3) 津波による被害予測	26
2-4 避難に時間を要するエリアの予測	28
2-5 宮崎市の地震津波対策上の問題・課題	30

第3章 「宮崎市地震津波対策インフラ構想」に対する検討会の提言

3-1	目指すべき方向性について	33
3-2	インフラが備えるべき機能について	34
3-3	副次的・多重的な減災効果を考慮した津波対策について	34
3-4	対策のパターン及び減災効果について	35
3-5	インフラ整備のイメージについて	35
3-6	具体の対策事業について	35
3-7	宮崎市に望む今後の取り組み姿勢について	36

(参考)	検討会における委員からの主なご意見等	37
------	--------------------	----

第4章 「宮崎市地震津波対策インフラ構想」

4-1	基本コンセプト	41
4-2	導入を目指すインフラの機能	42
	(1) 全体構想	42
	(2) 地域別構想	45
4-3	副次的・多重的な減災効果を考慮した津波対策について	60
	(1) 対策と効果のイメージ	60
	(2) シミュレーション結果の例	61
4-4	対策パターンの想定及び減災効果の想定について	63
	(1) 対策の実施パターン	63
	(2) 実施パターンによる減災効果の予測	66
4-5	インフラ整備のイメージについて	73
	(1) 方向性のイメージ	73
	(2) イメージ・パース	74
4-6	具体的な対策事業の検討について	75
4-7	構想の実現に向けて(今後の検討体制と課題)	75

【資料編】

資料1	避難に時間を要すると予測される区域	77
資料2	木造建築物の分布状況	79

はじめに

～災害に強い安全・安心なまちづくりを目指して～

未曾有の大災害となった 2011 年 3 月の東日本大震災は、防災に対する私たちの意識を根底から覆す衝撃的な出来事でありました。

過去、宮崎市においても甚大な被害をもたらした 1662 年の「外所（とんどころ）地震」については、将来世代に警鐘を絶やさないという先人の知恵により、50 年おきに供養碑を建てるという形で受け継がれてきました。地震発生から約 350 年の時を経て、現代に生きる私たちは、ある意味危機感を失いつつあったのではないかと大いに反省をし、地震・津波災害に対する備えについて改めて意を強くしたところです。



このような状況のもと、本市では東日本大震災以降、関係部局による「宮崎市地震・津波対策推進会議」を立ち上げ、18 分野 64 施策（平成 25 年 5 月現在）に上る対策をとりまとめ、鋭意取り組んでいるところであり、特に平成 25 年度からは「市民の命を守る事業」として、地震・津波等に対する総合防災対策に重点的に取り組んでいます。また、国・県におかれましても、当面する課題に対する施策を実施していただいております。

今回、このような取組みとも連携した地震津波対策に資するインフラ整備（ハード対策）のあり方について、効果的な対策となるよう、学識者のご意見を踏まえた構想を取りまとめました。

長期にわたる経済の低迷や少子・超高齢社会を迎える今日、国・県・市とも厳しい財政状況にありますが、それでも避けて通れないのが防災対策であり、効率的・効果的な対策の実施については、今後行政機関はもとより、市民や関係団体等との連携が何よりも重要な課題となってまいります。

いかにして災害から「市民の命と財産」を守っていくのか、我々に課せられた課題には大きなものがありますが、災害に強い安全・安心なまちづくりを目指すため、それぞれの主体における英知を結集し、この構想の実現に向けてのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成 25 年 10 月

宮崎市長

戸 敷 正